薩英戦争砲台跡

海岸沿いの根占町の近くにあるこの跡地には、かつて錦江湾を見下ろす砲台の台場がありました。最初は、海岸の 60 メートルに沿って建てられた高さ 3 メートル、幅 4 メートルの簡単な壁でした。しかし、1862 年の生麦事件（薩摩藩（現在の鹿児島）の藩主の家族が横浜で英国人との口論になった後、英国側の補償要求に応えなかった）の後、台場は約 400 人の職人によって急速に拡張されました。この事件は 1863 年の薩英戦争を引き起こしましたが、この砲台が戦争中に使われることはありませんでした。